

ふなよせ いせき 5 舟寄遺跡

所在地：坂井市丸岡町舟寄

調査原因：主要地方道丸岡川西線福井港

丸岡インター連絡道路改良工事

調査期間：令和4年4月～9月

調査主体：福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

調査面積：2,610 m²

時代：縄文時代中期



位置図 (S=1/50,000)

遺跡について 舟寄遺跡は、長崎集落と沖布目集落の水田に展開する遺跡で、縄文時代から江戸時代にいたる遺物散布地として知られています。周辺は1960年代まで条理地割^{じょうりちわり}が残っており、早くから土地開発が実施された記録も残るため、現在につづく水田利用の開始や旧地形の改変は古代にまでさかのぼる可能性があります。そのため本来の自然な地形をうかがうことが難しくなっています。

今回の調査区の南東へ数10mの地点で、平成17年度に発掘調査が実施され、今から約4500年前の縄文時代中期後半を中心とする集落跡が確認されました。今回の調査では、調査区の南側で20棟の^{たてあな}竪穴住居を確認しており、以前の調査地から連なる同じ集落になるようです。竪穴住居の多くが重なり合った状態で検出されており、何度も建て替えながら住み続けたことがうかがえます。調査区の中央から北側にかけては、河川跡や谷状に落ち込む地形が確認されており、そこでは遺構・遺物が希薄になるため、今回確認した住居群が集落の北端に当たるようです。

主な遺構 検出した遺構は、^{とこう}竪穴住居20棟、^{しょうこう}土坑・小坑約70基、^{うめがめ}埋甕5基等があり、このほか複数の河川^{しぜんりゅうろ}（自然流路）跡を確認しました。

竪穴住居は、多くが長径5m未満と小規模ですが、8・14号建物は6mを超えます。石組炉^{いしくみろ}が残存した竪穴住居は5・22号建物だけですが、焼けて硬くなった地面や炭・^{すす}煤けて割れた石等が残る炉^{あと}の跡は、4・6・7・8・9・14・20・21号建物で確認されました。このうち8・14号建物の炉跡は3面以上の硬化面^{こうか}が重なってお

り、補修しながら継続的に使用したことがうかがえます。土坑は大小様々なものがありますが、そのうち 17 号土坑は底面が焼けて硬化していました。その硬化面の厚さが 8・14 号建物炉跡の硬化面一面分の厚さの 2 倍程度となっていたことから、同じ火を焚いた跡だとしても建物の炉跡とは性格の異なることが考えられます。

埋甕^{うめがめ}は、おもに土器の下半や底部を切除して、口を上にした正位で埋設したものです。1・3号埋甕は下部を切除して、2号埋甕は底部に円い穴をあけて埋設していました。4号埋甕は、複数の土器を入れ子状にした、特殊な埋設のしかたでした。まず、底部付近を切除した土器を正位で埋設し、2個体目の土器をその内側に入れ子状に重ねて入れていました。2個体目の土器は後世の土圧の影響で割れていましたが、底部が切除されずに残存していました。最後に、別個体の底部付近の破片を、こんどは逆さにして被せていたようです。まだ確認できていませんが、その破片は1個体目の土器から切除した底部なのかもしれません。5号埋甕のみ建物内部（9号建物）に埋設されており、土器が逆位で埋設されていました。

主な遺物 出土した土器は、おもに縄文時代中期後半を中心とする時期のものであり、後期・晩期にいたるものも確認され、おおむね集落の存続期間を示すと思われま



調査区全体のおもな遺構配置(上が北)

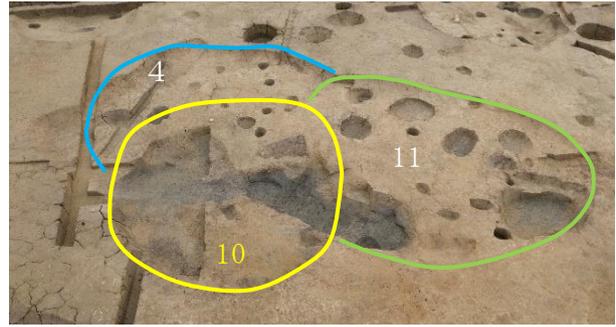
す。多くの生活に使用された土器のほかに、何かしら^{さいし}祭祀的なことに使われたことが考えられる土器が 2 号建物から出土しました。その土器は、下に^{きやくだい}脚台が付く短い首の壺形土器で、全面が赤色顔料で真っ赤に塗られています。台の付根には四方向に穴があけられています。土器の上半には弓形とけん玉形の突起が交互に首の部分からぶら下がる表現になっていますが、けん玉形の位置の一つは大半が欠けてしまっているものの、大きく把手のように出っ張っていたようであり、いわゆるジョッキ形の壺となるようです。このほか、^{せきそく}石鏃や^{せきすい}石錘、^{いしざし}打製石斧・磨製石斧、^{はくへん}石匙などの多様な石器や、石器製作にかかわるとみられる石材・^{はくへん}剥片等が多数確認されました。（御嶽貞義）



赤彩された台付壺



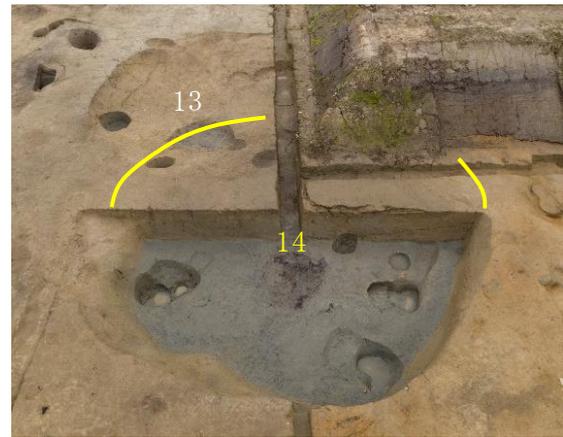
5号建物(南東から)



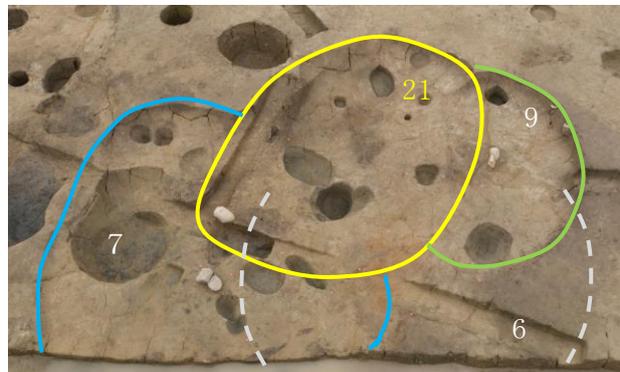
4・10・11号建物(北から)



8号建物(南東から)



13・14号建物(北から)



6・7・9・21号建物(南から)



8号建物炉跡



14号建物炉跡

炉跡断面の被熱硬化層



17号土坑(北西から)



2号埋甕(東から)



4号埋甕(南東から)